

見上げた空がクリーンであるよう 今できる一粒の種をまこう

しながわ ECOだより

品川区環境情報活動センターだより

2015年度 Vol.2



環境学習講座のご案内

10~12月の子ども&大人向け講座計画です



大人の鳥観察と発見の楽しみ

何十年にわたってスズメやツバメ、カラスなどを観察していると、これまで気が付かなかった新しい発見があります。

(対象：一般) *講師著書→

- 開催日/10月18日(日)
- 募集/9月21日から
- 講師/唐沢孝一氏 (NPO法人自然観察大学学長)



マレーシア
ボルネオ島の
世界自然遺産

キナバルパークと周辺の大自然

動植物の楽園であり宝庫でもあるキナバルの壮大な大自然のご紹介。(対象：一般)

- 開催日/11月3日(火)
- 募集/10月1日から
- 講師/倉田智子氏 (環境省環境カウンセラー)



試作!工作!アニメマシン

アニメーションの仕組みを学んだ後、廃材や身近な素材などを使って、環境にやさしいアニメーション工作を行います。(対象：小学生/3年生以下は保護者同伴)

- 開催日/11月8日(日)
- 募集/10月11日から
- 講師/久保利加子氏 (茨城県おもしろ理科先生講師)



面白そう
でしょ!

どんぐりカレンダーを作ろう

どんぐりを使って毎月使えるカレンダーを作ります。

- (対象：小学生と保護者)
- 開催日/11月15日(日)
- 募集/10月21日から
- 講師/丸山均氏 (しながわ区民公園管理事務所長)



異常気象と人類の選択

IPCC(気候変動に関する政府間パネル)第5次報告書の主執筆者が温暖化問題の本質について語ります。「地球の病気」ともいえる温暖化にどう向き合っていきますか。(対象：一般)

- 開催日/11月24日(火)
- 募集/10月21日から
- 講師/江守正多氏

(国立環境研究所 気候変動リスク評価研究室長) IPCC第5次評価報告書



*講座の名称、開催日、内容などはいずれも予定です。応募方法等については「広報しながわ」や品川区環境情報活動センターのホームページに掲載します。

エコ素材で作る... 香り豊かな入浴剤「バスボム」

「バスボム」とは、溶ける際にシュワッという音を楽しむことができる入浴剤です♪

- (対象：小学生/3年生以下は保護者同伴)
- 開催日/11月29日(日)
- 募集/11月1日から
- 講師/深澤秀治氏 (環境教育振興協会理事)

手作りを
楽しもう!



米袋!?で楽しいウォールポケット作り

意外な素材のリサイクルでユニークなウォールポケット(壁かけ)を作るクラフト講座です。(対象：一般)

- 開催日/12月6日(日)
- 募集/11月1日から
- 講師/竹中信子氏 (リサイクルアート作家)



NPO法人エコタウンしながわでは、出前講座「お天気教室」のご希望をお受けしています。

対象:品川区内幼稚園・保育園、小学校、中学校、各地域グループ・町会

時期:平成27年10月～平成29年3月(確定順に4講座)

講師:気象予報士 費用:無料

連絡先:環境情報活動センター内

NPO法人エコタウンしながわ

TEL・FAX: 03(5742)6533

E-mail: center@shinagawa-eco.jp

★講座例:

「天気のおしごとと気象実験」(小学校)

ペットボトルで雲を作ろう

「簡単に雲ができちゃった」

「おてんきとくもとあめのおはなし」

「いろいろな道具を使って虹を見よう」

(幼稚園・保育園)

講師:「雲に乗れるかな?」

園児のみなさん:「乗れない!」



台風に備えましょう

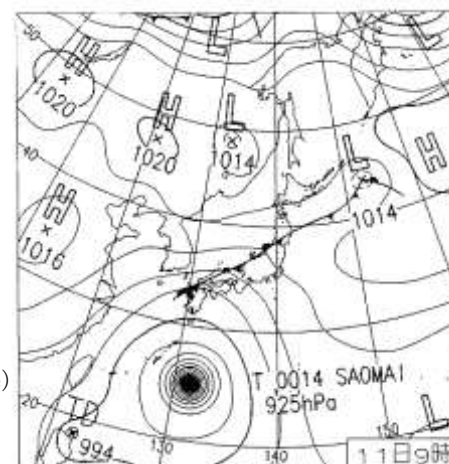
秋は台風にも最も注意が必要な季節です。過去にも伊勢湾台風や室戸台風など、歴史に名を刻むような大きな被害をもたらした台風が秋に襲来しています。最近では2013年10月に関東地方に接近した台風26号が記憶に新しいところです。特に伊豆大島の被害が大きく、大規模な土石流が発生して死者行方不明者は39人にのぼりました。

なぜ秋は台風による災害が起りやすいのでしょうか?理由は2つあります。

1つ目の理由は台風のコースです。夏は日本列島を勢力の強い太平洋高気圧が覆っているため、台風は高気圧に阻まれて日本列島に接近することができません。しかし秋になると太平洋高気圧は勢力を弱め、日本列島の南海上に後退していきます。するとガードを失った日本列島に台風が接近しやすくなるのです。



2013年台風26号による伊豆大島の被害 (Google)

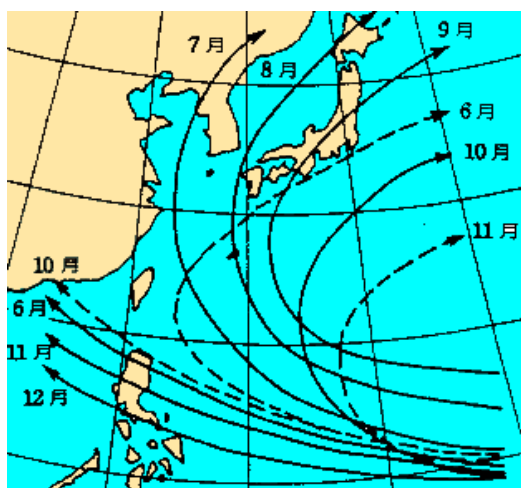


2000年9月12日 東海豪雨の天気図(気象庁)

台風が日本列島から離れていても大雨になることがあります。2000年の東海豪雨では、台風14号は沖縄付近にありましたが、台風の湿った空気が秋雨前線に流れ込み、東海地方で大雨となりました。

また、将来的には地球温暖化により、これまでになかったような大きな台風災害が起こる心配もあります。地球温暖化が進むと、台風の総数は減りますが、勢力の強い台風が増えると予想されています。さらに日本周辺の海水温が高くなることで、巨大化した台風が勢力を保ったまま日本列島に接近する恐れがあります。これまでの想定を超える大雨や暴風、高潮が発生する可能性もあります。川の堤防や防潮堤などハード面の対策を進める必要がありますが、台風予測精度の向上や防災情報の充実などソフト面の対策も重要です。情報を受け取る私たちの防災意識を高めることも大切だと思います。

(気象キャスターネットワーク 気象予報士 水越祐一氏)



台風の月別の主な経路(気象庁)

環境記者活躍中



★京浜運河でイボニシが産卵

運河の中でイボニシが産卵していました。以前、船の船底塗料の影響でメスのオス化で産卵できなくなってしまうと騒がれ、新聞などで報道された貝です。最近になってから運河の中でも少し見られるようになりました。肉食性の貝ですが、卵の割には成貝になるのは非常に少ない貝です。運河の中で一生懸命生きている品川区の「住民」です。
(環境記者 青野良平氏)



イボニシ(2匹)と卵です。2015年8月2日撮影
中央左の黄色い紐長い線が卵(赤の楕円の中)
殻(イボニシ)は卵の右に2個体います(緑の円の中)

★しながわ区民公園の朝

しながわ区民公園は6時に開園！6時前から開門を待つ人たちがいます。この日は平日のためか熟年世代が多く、みなさん健康維持のためのウォーキング！

夏場も公園内はひんやり、外気温より2~3℃は低いようで、避暑を兼ねて公園散歩をしている人がいました。また、自発的に集まった人がラジオ体操を行っていました。悪天候以外年中無休で音楽を流すボランティアを19年間続けている人も。この日は120名ぐらいが参加、週末はもっと大勢集まるようです。毎日参加し、体操の前後のあいさつで健康と地域のよいコミュニケーションの場になっているようです。



(環境記者 真壁美枝子氏)

区民環境記者募集中

環境情報活動センターでは、現在「区民環境記者」を募集しています。個人またはグループで取り組んでいる環境活動、環境イベント情報など、身近な環境情報をメールなどでお寄せくださる方を、区民環境記者として登録します。いただいた記事や写真は、環境情報活動センターのホームページなどに掲載します。

区内在住、在勤、在学で環境に興味のある方のご応募をお待ちしています。

詳細は環境情報活動センターまで

E-mail : center@shinagawa-eco.jp

TEL : 03-5742-6533



夏休み子ども環境学習講座

生きもの博士になろう (7月18,22,25日)

①「感じてみよう！生きものたちのおしゃべり」

五感を使ったゲームや自然観察を通して、生きものとのコミュニケーションの方法を探りました。ハーブを使ったエアフレッシュナー作りも行いました。



②遊んで発見！植物の魅力

葉っぱの形・におい・感触などを遊びながら発見してもらい、自然の面白さを学びました。葉っぱのスタンプでエコバック作りをしました。



③みんなで体験！昆虫のふしぎ

見たり、聞いたり、触ったり…五感を使って昆虫のふしぎを学びました。公園で採集したセミの抜け殻で標本作りもしました。



気象予報士から学ぶ気象と環境 (8月1,2,3日)

①暑すぎる！東京のふしぎ発見

都会が熱くなっている理由や、暑さや紫外線から身を守る方法を学ぶとともに、いろいろな器具を使って暑さの差を体験しました。



②突然の大雨に気をつけよう

クイズを交えて雲、雨、雷、竜巻についての話を聞き、雲や雷を作る実験をした後、自然災害から身を守る方法を学びました。



③地球温暖化ってなんだろう？

2100年の天気予報では、40度を軽く超える夏、猛烈な台風の直撃…、こんな未来に本当になってしまうのでしょうか？温暖化の仕組みを学びました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

こんな講座を開催しました（平成27年5～8月）

●間伐材を使って楽しい工作をしよう

（小学生と保護者／5月17日）
森とそこに棲む動物のつながりや、森を守るために間伐が必要だということを学びました。間伐材をノコギリで切って積木作りをしました。



●JALそらエコ教室(*)

（小学生／5月31日）
世界の温暖化の現状や、飛行機のエコな飛ばし方、新しい航空燃料の研究への協力などJALが行っているエコ活動について、また普段耳にすることができない貴重なお話を聞くことができました。



●アートで素敵なエコバッグ作り

（一般／6月7日）
デザインのヒントを得るため、文化人類学を絡めたアートの話、エコをデザインする例などを見た後、牛乳パックでオリジナルステンシルに挑戦しました。



●LEDとふしぎなシートで光の実験と工作をしよう

（小学生／6月21日）
3色のLEDの組み合わせでいろんな光の色ができることを学ぶとともに、不思議なシート(回折シート、偏光シート)を使ってきれいな虹の模様を見たり、黒い壁を鉛筆が突き抜けるように見える不思議な筒を作りました。



●風鈴とうちわ作り

（小学生以上／7月5日）
地球温暖化についてのお話や風を利用して涼をとる体験・実験をした後、古来の夏の風物詩である「うちわ」と「風鈴」を作りました。



●リサイクルが進む容器包装

（一般／7月12日）
びん・缶・ペットボトルの製造とリサイクルについてのお話を聞きました。軽くなった容器やペットボトルのリサイクルの方法については、参加者から「目からウロコでした」とのコメントがありました。



●バナナのDNA抽出実験で生きものの保護について学ぼう

（小学生と保護者／8月9日）
バナナのDNA(遺伝子)を抽出する作業を通して、生きものの仕組みや不思議、自然や生命の大切さを感じてもらうことができました。



●太陽エネルギーでお湯を作ろう

（小学生／8月16日）
太陽エネルギーの様々な利用、太陽熱温水器の仕組みなどについて学びました。水の入った冷水筒に太陽光を当てて水を温める実験を行い、太陽エネルギーの大きさ実感しました。



会場：品川区環境情報活動センター (*)は区役所講堂

《体験型環境学習講座》

容器文化ミュージアムで タイムカプセル缶を作ろう

<会場>
東洋製罐グループ
ホールディングス
容器文化ミュージアム

（小学生と保護者／7月28日）
容器包装について、その役割や環境への配慮などを学んだ後、数年後の自分に向けた手紙を入れた「タイムカプセル缶」を作りました。



講座内容の詳細は、環境情報活動センターのホームページ http://shinagawa-eco.jp/mt_kouza/ でご覧いただけます。

しながわECOだより 2015年度Vol.2

発行：品川区都市環境部環境課

編集：特定非営利活動法人
エコタウンしながわ

発行日：平成27年9月15日

住所：〒140-8715

品川区広町2-1-36

品川区環境情報活動センター内

TEL/FAX：03-5742-6533

E-mail：center@shinagawa-eco.jp

HP：http://shinagawa-eco.jp/

本紙は、古紙を配合した用紙で作成しています。